

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた
中学校国語の指導方法等の改善計画

別紙Ⅰ

【東広島市立もみじ中学校】

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果（平均正答率 %）

「言葉の特徴や使い方に関する事項」	自校（44.4）	広島県（58.0）	全国（59.2）
「話すこと・聞くこと」	自校（44.4）	広島県（59.4）	全国（58.8）
「情報の扱い方に関する事項」	自校（66.7）	広島県（59.2）	全国（59.6）

I 正答率の低い問題（下位3問）

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

問題番号4一 正答率 0.0%

短歌に用いられている表現の技法を説明したものとして適切なものを選択する。

【話すこと・聞くこと】

問題番号一二 正答率33.3%

話し合いの中で発言する際に指示している資料の部分として適切な部分を○で囲む。

【情報の扱い方に関する事項】

問題番号一三 正答率 33.3%

話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する。

II 考えられる主な原因

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

短歌に用いられている表現の技法を理解できていない。

【話すこと・聞くこと】

話の内容と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができていない。

【情報の扱い方に関する事項】

多くの情報に読み慣れておらず、事実と考え、事実、具体例などの読む基本が理解できていない。

III 解決に向けた授業改善等の取組

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

- ・1・2・3年の既習事項のワークシートを用いた指導をする。
- ・基礎基本の定着のために、漢字ワークで漢字の読み書きの宿題を引き続き行う。
- ・俳句や詩の学習の時に、表現技法の確認を行い、理解させる。

【話すこと・聞くこと】

【情報の扱い方に関する事項】

- ・1・2・3年の既習事項のワークシートを用いた指導をする。
- ・基礎基本の定着のために、漢字ワークで漢字の読み書きの宿題を引き続き行う。
- ・説明文等の学習時に、情報を図表に表し、整理して解釈をする学習を行う。

IV 今年度の目標

検証問題の目標（正答率） 令和7年2月実施

3年生

33%